2014年3月期
本決算概要

2014年5月13日
千代田化工建設株式会社

All Rights Reserved. CHIYODA 2014

1. 業績概要

単位：億円

	13年3月期	14年3月期	前年同期比	伸び率	期首通期予想	達成率
受注高	4,029	5,899	+1,869	+46.4%	6,000	98.3%
完成工事高	3,989	4,461	+472	+11.8%	4,700	94.9%
営業利益	251	211	△40	△16.1%	240	87.8%
経常利益	255	228	△27	△10.5%	260	87.8%
当期純利益	161	134	△26	△16.4%	160	84.0%
包括利益	251	130	△120	△48.0%		
一株あたり配当	19.0円	16.0円			19.0 円	
為替レート	94円/$	102円/$			100 円/$*	

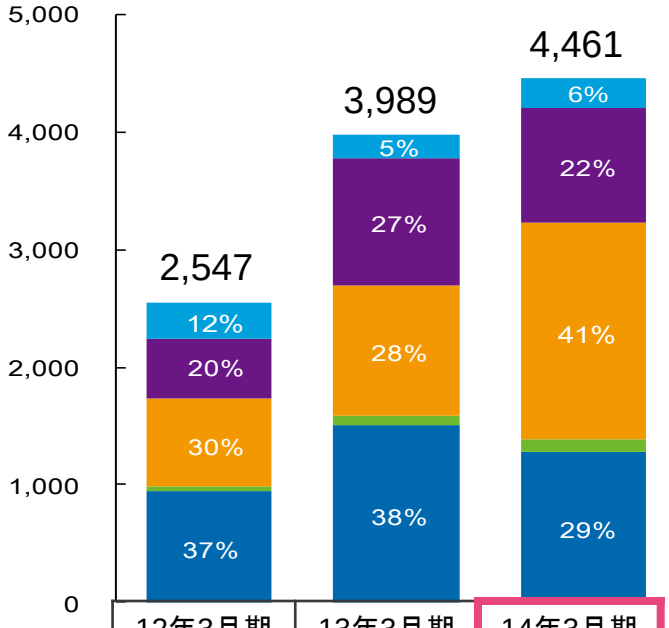
米国キャメロンLNGを受注計上、未計上のフリーポートLNGへの参画も決定済。史上最高の受注残水準。
一部工事の採算悪化などにより各利益項目は目標未達、減配。

【注】＊ 3Qに通期予想の想定レートを90円/$から変更。

CHIYODA CORPORATION

2. 完成工事高

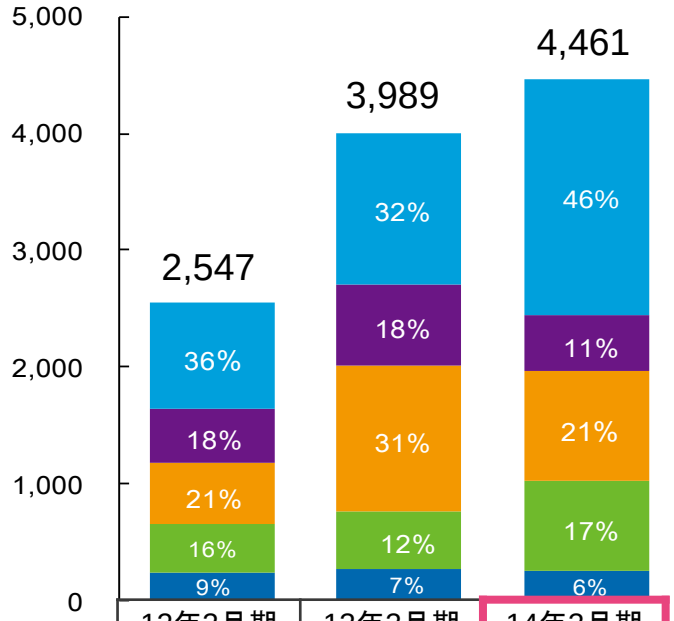
＜地域別＞



	12年3月期	13年3月期	14年3月期
中東	304	211	250
アジア	500	1,077	981
オセアニア	758	1,107	1,839
その他	36	86	103
海外　合計	1,598	2,481	3,174
国内　合計	949	1,508	1,287

＜分野別＞

単位：億円



	12年3月期	13年3月期	14年3月期
LNG	919	1,284	2,030
ガス処理 *1	455	697	475
ファイン・インダストリー *2	531	1,252	943
石油・石油化学	413	496	760
資源・環境・その他	229	261	253

<地域別>　オセアニアでの案件が順調に推移、前期比7割増額。

<分野別>　LNG分野と石油・石油化学分野が大幅伸長。

【注】＊1「決算短信」分類の「その他ガス関係」　＊2「決算短信」分類の「一般化学・産業設備関係」

CHIYODA CORPORATION

3. 利益関連項目

単位：億円

	13年3月期	14年3月期	前期比
完成工事総利益	**425** 10.7%	**415** 9.3%	△11 △1.4pt
販売費及び一般管理費	△174	△204	△30
営業利益	**251** 6.3%	**211** 4.7%	△40 △1.6pt
営業外損益	4	18	+14
経常利益	**255** 6.4%	**228** 5.1%	△27 △1.3pt
特別損益・税金・少数株主利益	△94	△94	+1
当期純利益	**161** 4.0%	**134** 3.0%	**△26** △1.0pt

国内および海外の一部案件で、不具合対応等によるコスト増や精算交渉の難航による採算悪化が発生。
管理・モニタリングを再度徹底し再発を防止する。
販売費及び一般管理費の増加は戦略的な人員増強、Gr会社の連結化とのれん償却の開始による。

4. バランスシート

単位：億円

	13年3月末	14年3月末	増減
【流動資産】	**3,832**	**4,091**	**+259**
現金及び預金等 ＊1	1,829	1,454	△375
営業資産三勘定 ＊2	807	1,068	+261
JV持分資産 ＊3	947	1,275	+328
その他	250	294	+45
【固定資産】	**522**	**662**	**+140**
有形固定資産	145	150	+4
無形固定資産	68	195	+127
投資等	309	317	9
【資産】	**4,354**	**4,753**	**+399**

	13年3月末	14年3月末	増減
【流動負債】	**2,304**	**2,617**	**+312**
短期借入金	1	13	+12
営業負債三勘定 ＊4	1,970	2,256	+286
工事損失引当金	13	40	+27
その他	321	308	△13
【固定負債】	**156**	**156**	**△0**
長期借入金	101	100	△1
その他	55	56	+1
【純資産】	**1,894**	**1,980**	**+87**
【負債･純資産】	**4,354**	**4,753**	**+399**

【自己資本】	**1,884**	**1,964**	**+80**
【自己資本比率】	**43.3%**	**41.3%**	△2.0pt

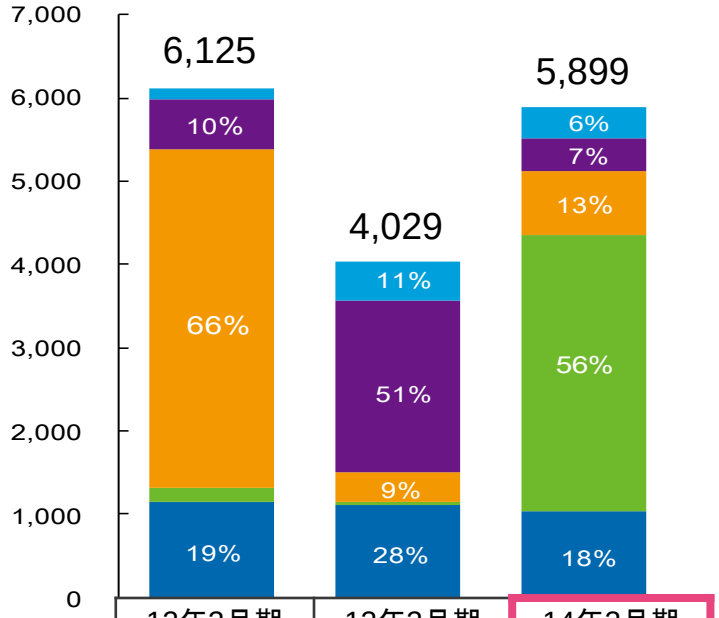
【注】
＊1 現金及び預金等＝現金預金＋有価証券（譲渡性預金等）
＊2 営業資産三勘定＝受取手形･完成工事未収入金＋未成工事支出金
＊3 JV持分資産：ジョイントベンチャーにおける当社持分に相当する現預金
＊4 営業負債三勘定＝支払手形･工事未払金＋未成工事受入金

固定資産増：　英国エクソダス社との資本提携に加え、ガボン共和国での油田開発事業会社の株式取得等。

純資産増：　当期純利益134億円計上、支払い配当金49億円。

5. 受注高

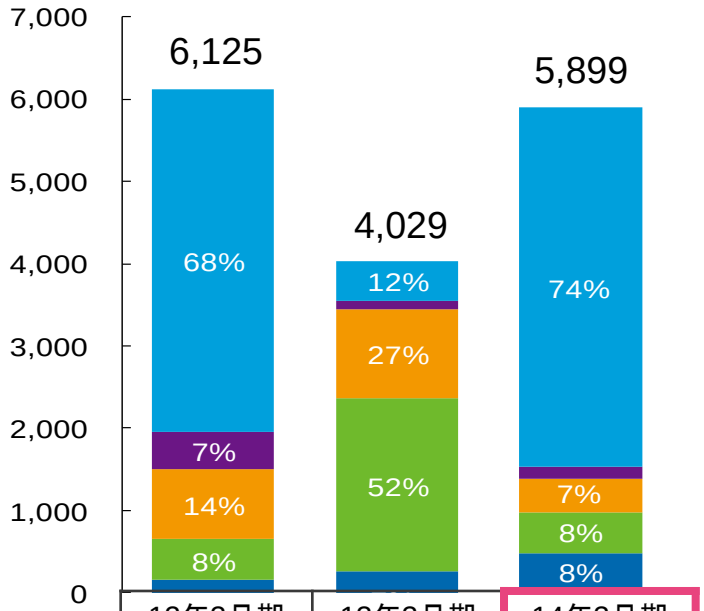
＜地域別＞



	12年3月期	13年3月期	14年3月期
中東	141	450	373
アジア	603	2,073	402
オセアニア	4,067	359	769
米国その他	158	30	3,308
海外 合計	4,969	2,912	4,852
国内 合計	1,156	1,117	1,047

＜分野別＞

単位：億円



	12年3月期	13年3月期	14年3月期
LNG	4,177	472	4,370
ガス処理 *1	441	112	143
ファイン・インダストリー *2	852	1,078	410
石油・石油化学	500	2,106	492
資源・環境・その他	157	261	484

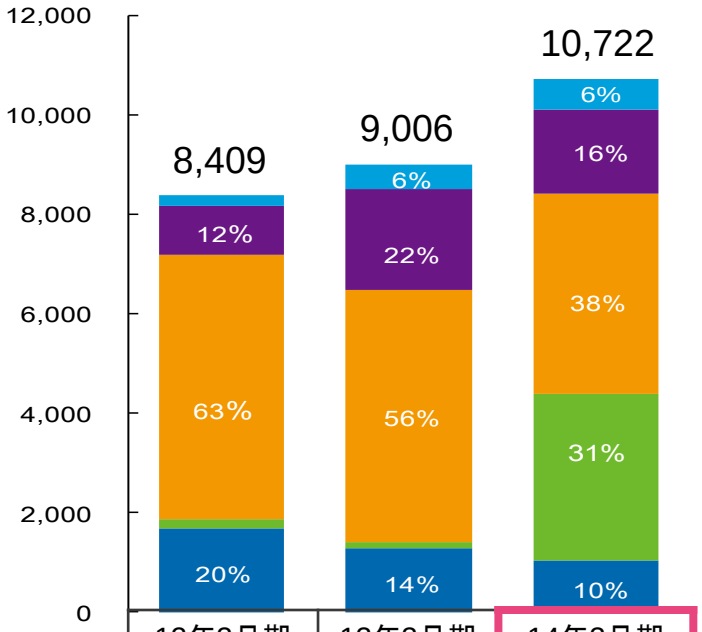
キャメロンLNGにより、米国その他地域およびLNG分野が大幅に伸長。
国内は中小案件の積み上げにより、期首想定より大幅増。

【注】＊1「決算短信」分類の「その他ガス関係」　＊2「決算短信」分類の「一般化学・産業設備関係」

CHIYODA CORPORATION

6. 受注残高

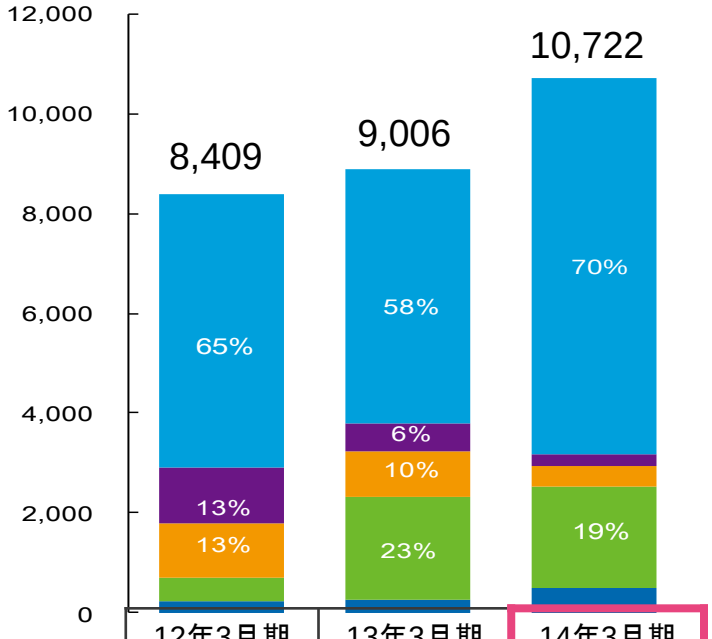
＜地域別＞



	12年3月期	13年3月期	14年3月期
中東	240	493	609
アジア	979	2,008	1,679
オセアニア	5,305	5,082	4,050
米国その他	202	145	3,352
海外 合計	6,726	7,728	9,690
国内 合計	1,683	1,278	1,032

＜分野別＞

単位：億円



	12年3月期	13年3月期	14年3月期
LNG	5,486	5,212	7,556
ガス処理 *1	1,130	547	216
ファイン・インダストリー *2	1,078	906	426
石油・石油化学	466	2,086	2,034
資源・環境・その他	249	255	491

07年3月期（10,487）を上回る史上最高水準。

海外の伸長とシェア増大が続き90%へ。

【注】＊1「決算短信」分類の「その他ガス関係」　＊2「決算短信」分類の「一般化学・産業設備関係」

CHIYODA CORPORATION

7. 2015年3月期 通期業績予想

単位：億円

	14年3月期 実績	15年3月期 予想	前期比	伸び率
受注高	5,899	8,000	+2,101	+35.6%
完成工事高	4,461	4,650	+189	+4.2%
営業利益	211	190	△21	△10.0%
経常利益	228	210	△18	△7.9%
当期純利益	134	135	+1	+0.7%
配当	16.0円	16.0円	0.0円	
為替レート	102円/$	100円/$		

8. 2015年3月期　通期業績予想の内訳

単位：億円

	14年3月期 実績	15年3月期 予想	前期比
受注高	**5,899**	**8,000**	**+2,101**
海外	4,852	7,000	+2,148
国内	1,047	1,000	△47
完成工事高	**4,461**	**4,650**	**+189**
海外	3,174	3,350	+176
国内	1,287	1,300	+13
完成工事総利益	**415**	**420**	**+ 5**
販売費及び一般管理費	△204	△230	△26
営業利益	**211**	**190**	**△ 21**
営業外損益	18	20	+2
経常利益	**228**	**210**	**△ 18**
特別損益・税金・少数株主利益	△94	△75	+19
当期純利益	**134**	**135**	**+1**

9. 経営指標

	11年 3月期	12年 3月期	13年 3月期	14年 3月期	15年3月期 予想
完成工事総利益率(%)	12.8	15.3	10.7	9.3	9.0
完成工事高販管費率(%)	5.7	5.8	4.4	4.6	4.9
完成工事高営業利益率(%)	7.1	9.5	6.3	4.7	4.1
完成工事高経常利益率(%)	6.4	9.3	6.4	5.1	4.5
完成工事高当期純利益率(%)	3.2	5.6	4.0	3.0	2.9
総資産経常利益率<ROA>(%)	4.6	6.6	6.4	5.0	
自己資本当期純利益率<ROE>(%)	5.3	8.9	9.0	7.0	
一株当たり当期純利益<EPS>(円)	30.79	55.44	62.06	51.91	
一株当たり純資産<BPS>(円)	599.15	648.95	727.24	758.31	
自己資本比率(%)	43.9	46.0	43.3	41.3	
流動比率(%)	173.8	165.5	166.3	156.3	
固定比率(%)	24.0	27.0	27.7	33.7	
負債純資産倍率<DER>(倍)	0.07	0.06	0.05	0.06	

経営現況報告

All Rights Reserved. CHIYODA 2014

14年3月期　完成工事高に含まれる主な案件

◆ LNG･ガス分野

- パプアニューギニア　LNGプラント
- オーストラリア　LNGプラント
- カタール　千代田アルマナ社 長期EPCm*業務
- 国内　LNG受入基地(複数件)

◆ 石油･石油化学分野

- サウジアラビア　重質油分解装置
- ベネズエラ　重質油処理設備EPsCm**業務
- ベトナム　製油所･石油化学コンプレックス
- カタール　製油所
- シンガポール　千代田シンガポール社　長期EPCm業務

◆新エネルギー･環境･インフラ･その他分野

- マレーシア　多結晶シリコンプラント(第2期)
- フィリピン　ニッケル製錬プラント
- 国内　メガソーラー建設工事(複数件)
- 設備診断、自然災害対策コンサル業務、O&M

*EPCm; Engineering, Procurement and Construction management
**EPsCm; Engineering, Procurement support and Construction management

14年3月期　受注高に含まれる主な案件

◆ LNG･ガス分野

- Cameron LNG EPC業務
- 既受注LNG案件　追加工事
- カタール　千代田アルマナ社　長期EPCm業務
- 国内　LPG備蓄基地津波対策工事

◆新エネルギー･環境･インフラ･その他分野

- モンゴル　新国際空港建設工事
- 国内　医療研究施設建設工事
- 国内　メガソーラー建設工事(複数)
- 国内　産業設備関連建設工事
- 設備診断、O&M

今後の受注見通し

◆ LNG・ガス分野

- LNG案件（北米、東南アジア、アフリカ、ロシア）/ EPC及びFEED案件
- 海外拠点案件（千代田アルマナ社他）/ EPCm及びEPC案件

◆石油・石油化学分野

- 海外石油・石油化学案件（中東、東南アジア、中南米）/ EPC及びFEED案件
- 海外拠点案件（千代田シンガポール社他）/ EPCm及びEPC案件
- 国内　顧客の海外進出案件/EPC及びFEED案件
- 国内　新設・更新案件/EPC及びFEED案件

◆新エネルギー・環境・インフラ・その他分野

- 太陽熱、太陽光発電案件
- 社会インフラ案件（鉄道・空港・水再利用など）
- 非鉄金属案件

◆新たな取り組み分野

- オフショア・アップストリーム案件
- 高度解析・システム化技術の展開（国土強靭化対策など）

進捗状況　中期経営計画「時代を捉え、時代を拓く」

- **北米LNGプロジェクトの遂行体制を強化**
  - 北米地域のLNG案件を遂行する為、米国CB&I社と協業覚書を締結
  - Cameron LNG および Freeport LNG EPC業務を受注
- **中小案件の地産地消体制の確立・遂行**
  - アジア地域プロジェクトを統括する事業本部の新設
  - 千代田アルマナ社他による中東オペレーション拡大中、地域EPC案件獲得
- **オフショア・アップストリーム分野を事業の柱に追加**
  - オフショア・アップストリーム事業本部の新設
  - 英国アップストリーム・サービスプロバイダーとの資本提携
  - インドネシア　洋上ガス処理設備(FPU*)のEPCI**受注
  - ガボン共和国　海上油田権益保有会社への資本参加
- **エネルギーインフラ・社会インフラを事業の柱に追加**
  - 社会インフラ事業への進出:　モンゴル新空港建設工事の受注
  - 水素社会実現に向けて:　水素の大量貯蔵・輸送システムの実証に成功
  - 太陽熱発電:　新システム(溶融塩トラフ型)デモプラント運転開始

*FPU: Floating Production Unit
**EPCI: Engineering, Procurement, Construction and Installation

CHIYODA CORPORATION

【お問い合わせ先】

千代田化工建設株式会社

IR・広報セクションSL　中山　直行

〒220-8765　横浜市西区みなとみらい四丁目6番2号
みなとみらいグランドセントラルタワー
TEL. 045-225-7734　　FAX. 045-225-4962

URL　https://www.chiyoda-corp.com/contact/index.php

この資料には、2014年5月13日現在の将来に関する見通しおよび計画に基づく予測が含まれています。
経済情勢の変動等に伴うリスクや不確定要因により、予測が実際の業績と異なる可能性があります。